

清たんの額・・・江端地区

清たんの額には「三日月（みかづき）」がついています。

清明地区の北の端に日吉神社があります。そしてその境内に三日月の形をした池があり、そこには石碑がたてられています。

碑文はうすくなっていますが、ここにまつわる「御代参（ごだいさん）」について書かれています。

内容は次のように読むことができます。

「江端は玉の江と呼称し、広大な江の端に位置している。境内の”三日月池”の霊水は難病に苦しむもの服用すれば治ると、これを拝む人多く、明和七年国主松平越前守脳病にかかり、この霊水を服用して速やかに回復した。同年六月十五日はお礼の参拝があり廃藩まで毎年代参した」

